

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号	0094			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	General Chemistry						
担当教員	佐々 和洋,上島 晃智,津田 良弘,常光 幸美,高山 勝己,加藤 敏,松井 栄樹,西野 純一,川村 敏之,松野 敏英,後反 克典,坂元 知里						
到達目標							
化学の分野に関する技術英文で用いられる専門用語および構文について解説を行い、その読解能力を高め、一般的な論文が理解できるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英語で書かれた解説や論説・学術論文などを筆者の意図に沿って読解し、その内容を日本語で説明できる。		一般的な英語論文の構文が理解でき、訳すことが出来る。また、論文中でのグラフや表の書き方、注釈の書き方について理解できる。		一般的な英語論文の構文が理解でき、訳すことが出来ない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		今日に於いては技術の国際的な交流が活発になされており、技術者は技術に関する英文の読解力が求められている。そこで、化学の分野に関する技術英文で用いられる専門用語および構文について解説を行い、その読解能力を高め、一般的な論文が理解できるようにする。					
授業の進め方・方法		前期は、前半には工業英語の基本的な単語、熟語、文型、構造について解説を行い、後半には簡単な文献の通読を行う。後期は、物質工学科各教員に学生を振り分け、各卒研室で次年度の卒研の準備も含めて、少人数での文献輪読を行い個別指導を行う。授業害学習は予習として毎授業範囲の英文訳と単語テスト対策を課すことにより行う。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業概要、ガイダンス			化学英語とはどのようなものか、発音の基本が理解できる	
		2週	化学単語			化学英語の基本単語が理解できる	
		3週				化学英語の基本単語が理解できる	
		4週	構文理解			化学に頻出する基本構文が理解できる	
		5週				化学に頻出する基本構文が理解できる	
		6週	化学英語になじむ			化学英語の文章に親しむ	
		7週				化学英語の文章に親しむ	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	試験返却・化学英文解釈			化学論文や記事を読むことができる	
		10週				化学論文や記事を読むことができる	
		11週				化学を英文で書き表すことができる	
		12週				化学を英文で書き表すことができる	
		13週	化学論文解釈			基礎的な英語論文の講読ができる	
		14週				基礎的な英語論文の講読ができる	
		15週	期末試験				
		16週	試験の返却と解説、前期のまとめ			前期のまとめ	
後期	3rdQ	1週	各教員に配属、授業概要、ガイダンス			授業内容の説明、研究室紹介	
		2週	各研究室単位での論文購読			英語論文の講読	
		3週				英語論文の講読	
		4週				英語論文の講読	
		5週				英語論文の講読	
		6週				英語論文の講読	
		7週				英語論文の講読	
		8週	中間確認				
	4thQ	9週				英語論文の講読	
		10週				英語論文の講読	
		11週				英語論文の講読	
		12週				英語論文の講読	
		13週				英語論文の講読	
		14週				英語論文の講読	
		15週	期末試験				
		16週	学習のまとめ			学習のまとめ	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0